

令和6年度組織目標

部局名	健康医療福祉部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○だれもが自分らしく幸せを感じられる健康しがの実現</p> <p>目標： ・環境、文化、交通、観光、労働など滋賀を支えるあらゆる分野連携して健康しがの取組を進められるよう、先頭に立って牽引する。</p>
	<p>○医療福祉拠点の整備促進</p> <p>目標： ・関係課が総力を挙げて、実現に向けた一定の道筋をつける。 【民間棟(人材育成と賑わい創出)の計画の具体化、行政棟整備の着実な推進、医療福祉連携ネットワークの立ち上げ準備】</p>
	<p>○湖北圏域における地域医療構想の推進</p> <p>目標： ・長浜市病院再編方針に基づき具体的な取組が進むよう、長浜保健所と連携して側面的な支援を行い、湖北圏域の病院再編を推進する。</p>
	<p>○誰にも居場所と出番のある社会づくりの推進</p> <p>目標： ・住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療的ケア児者とその家族を支える体制づくりを推進する。 【医療型短期入所事業所の開設促進：3か所以上】 【協議会においてレスパイト充実のための課題整理を行い、令和7年度以降の施策提案につなげる。】</p>
	<p>○新しい政策にチャレンジするための業務見直し・効率化の推進</p> <p>目標： ・変化する社会課題や県民ニーズに柔軟に対応できるよう、先駆的に取り組んできた福祉実践を大切にしつつ、前向きに業務の見直し・効率化を推進する。</p>
	<p>○CO2ネットゼロの推進</p> <p>目標： ・オンライン会議、ペーパーレス化の一層の推進を図る。 【部次長協議は原則ペーパーレスとする。】</p>

所属名	健康福祉政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○医療福祉拠点の整備：民間棟(人材育成と販わい創出)の計画の具体化、行政棟整備の着実な推進、医療福祉連携ネットワークの立ち上げ準備</p> <p>目標： ・民間棟の事業者決定、協定締結 ・行政棟の実施設計完了 ・医療福祉連携ネットワークの構築に向けた推進会議の開催</p>
	<p>○戦後80年に向けた取組</p> <p>目標： ・戦没者慰霊や平和について県民みんなで考える場づくりに取り組む。 ・2025年に開催する戦後80年平和祈念事業の準備を着実に進める。</p>
	<p>○共生社会の実現に向けた取組（ユニバーサルデザイン）の推進</p> <p>目標： ・昨年度改定した「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」の理解促進を図る。本年度は特にバリアフリー情報の収集・発信を重点的に行う。調査の段階で施設管理者の理解を深めるとともに、結果を発信することで県民の利便性の向上を図る他、令和7年の国スポ・障スポ大会の来県者にも利用いただき、大会のレガシーの一つとする。 「県内観光施設等100箇所ではバリアフリーの実地調査を実施」</p>
	<p>○【見直し・効率化】オフィス環境の改善</p> <p>目標： ・更なるペーパーレス・ペーパーストックレス化の推進 課内協議、部内協議は原則ペーパーレスとする</p>

所属名	医療政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○働き方改革を踏まえた医療人材の確保・育成</p> <p>目標： ・医師の働き方改革施行後の各病院へのフォローアップ ・医療人材の確保・定着の促進（医師、看護師の地域枠の拡充、医師の海外留学等貸付金制度の創設、看護職貸付金の拡充、看護の魅力発信等） 目標：臨床研修医採用数 110人 看護職員就業者数 300人増</p>
	<p>○安全安心な医療提供体制の整備</p> <p>目標： ・湖北圏域病院再編の推進 ・周産期医療圏内の病院、診療所、助産所、行政のネットワークの充実・強化 ・小児救急ブロック化の推進</p>
	<p>○【見直し・効率化】勤務時間内の会議、協議の徹底</p> <p>目標： ・会議や協議を勤務時間内で終えることにより、時間外勤務を縮減し、ワークライフバランスを推進する。</p>

所属名	健康危機管理課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○コロナ禍や能登半島地震を踏まえた健康危機管理体制の再構築</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や災害医療の体制再構築とリスクコミュニケーション推進【R6秋頃：感染症を考える月間、各種災害医療訓練の実施】 ・R6.9までに、県感染症予防計画に定める各協定目標数の達成【病床500床、発熱外来594機関、薬局373施設、訪看65施設】 ・R7.3までに、新型コロナの教訓を踏まえた実効的な県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定
	<p>○衛生科学センターの機能強化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛科センター・大学と連携した取組の創出【3事業】 ・R7.3までに、部局横断的な連携等によるセンター移転整備の効果的な実施方針（要求水準書）の策定・公表
	<p>○【見直し・効率化】</p> <p>事務効率化の推進：申請受付業務等の電子化促進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7.3までに、外部申請100件以上の事務にかかる申請様式の見直し、申請電子化を促進する

所属名	健康しが推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○「健康しが」を切り口にあらゆる分野との連携を加速</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康しが共創会議等を活用し、環境、文化、交通、観光、労働など滋賀を支えるあらゆる分野と連携を図り、楽しみながら健康づくりを習慣化できる取組を増やす。（目標値：新規10以上）
	<p>○口腔衛生センターの機能移転の検討を本格化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者への高度な歯科治療や歯科保健サービスの提供を充実させるため、県立総合病院や関係団体等と連携強化のもと、口腔衛生センターの機能移転の検討を本格化する。
	<p>○【見直し・効率化】ICTの積極的な活用とチェック体制の強化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議等を活用して効率的な会議運営等を行うほか、電子データを活用した分かりやすい資料を作成し、紙媒体の資料を削減する。 ・個人情報情報の漏洩を防止するため、ホームページ掲載やメール送信等を行う場合、チェックシートを活用し複数人による確認を確実にを行う。

所属名	医療福祉推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○滋賀の医療福祉を支えるサービス提供体制の確保</p> <p>介護従事者を確保し、将来の介護職員数需給ギャップを0にするため、</p> <p>目標： ①子ども・若者世代が介護を身近に感じていただく機会を作る ②元気高齢者の参入を推進する ③介護従事者にとって「働き続けたい」魅力ある職場づくりを進める ※介護職員数需給ギャップ R8 1900人</p>
	<p>○能登半島地震を踏まえた災害対応の検討</p> <p>高齢者の広域避難等の能登半島地震の状況を踏まえ、</p> <p>目標： ①高齢者施設等の受援体制整備について、事業者団体とともに検討する ②事業所BCPの策定を100%としたうえで、実効性を高めるための支援を行う</p>
	<p>○【見直し・効率化】介護現場の業務効率化につながる電子化の推進</p> <p>目標： 当課職員・介護現場双方の業務効率化を意識した手続きの電子化を進める</p>

所属名	障害福祉課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 就労支援の促進</p> <p>目標： ・工賃月額が30,000円以上の就労継続支援B型事業所：23% ・ネットワーク事業の協議の場の参加企業・団体数：150団体 ・県における優先調達を進める：金額3600万円以上、調達機関100% ・応援企業を増やす：160社以上</p>
	<p>○ 共生社会づくりの推進</p> <p>目標： ・手話・コミュニケーション条例の施行に関する当事者協議：5回以上 ・手話・コミュニケーション条例に基づく出前講座：50回以上 ・共生社会サポーター数：100社以上</p>
	<p>○ 医療的ケア児者への支援の充実と障害福祉サービス事業所に対する実地指導の推進</p> <p>目標： ・医療型短期入所事業所の開設促進：3か所以上 ・協議会においてレスパイト充実のための課題整理を行い、令和7年度以降の施策提案として活用する。 ・実地指導数：150事業所以上（令和5年度109事業所、令和元年度134事業所）</p>
	<p>○ 精神障害者の権利擁護の推進</p> <p>目標： ・入院訪問支援員の養成と病院訪問：14人以上、60回以上 ・各精神科病院において虐待対応体制（職員研修、相談窓口）が整えられている：全病院（県内精神科病院数12か所）</p>
	<p>○【見直し・効率化】手続等の電子化の推進、紙決裁・供覧の全廃</p> <p>目標： ・しがネット受付サービス等による提出を可能とするなど受付事務の効率化・省力化を図る：10事務以上 ・紙による決裁・供覧：（電子化することで事務負担が増大するものを除き）全廃</p>

所属名	薬務課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○骨髄ドナー登録の推進</p> <p>目標： ・骨髄バンクの対象人口千人当たりにおけるドナー登録者数：13.6人（R6.2月末：13.25人）</p>
	<p>○薬剤師確保対策の実施</p> <p>目標： ・地域および業態における薬剤師偏在の解消に向けて取組む</p>
	<p>○県内の製薬企業等への技術支援・人材育成</p> <p>目標： ・製薬技術セミナーの開催回数、参加者数（WEBでの参加者数含む）：15回開催、750人参加 ・機器の貸出利用回数：年間延べ265回（過去最高、R4：265回）</p>
	<p>○【見直し・効率化】手書き様式の電子化による業務の効率化</p> <p>目標： ・手書き様式を電子化にすることにより、業務の効率化を図りつつ、県庁外の課員の決裁を円滑に処理する。</p>

R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>所属名 生活衛生課</p> <p>○動物行政における多機関連携の更なる推進</p> <p>動物愛護管理推進計画（第3次）（計画期間：令和6年度～15年度）に基づき、実質的な致死処分ゼロを目指して以下の事業を実施する。</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いぬ・ねこ・にんげんしあわせフェスタの実施 ・地域猫活動の普及推進（25件） ・多頭飼育問題への対応（2事例） ・ミルクボランティアの育成 ・災害時のペット対策の推進
	<p>○2025 国スポ・障スポ開催に伴う関係施設への衛生対策</p> <p>・国スポ・障スポに参加される関係者に提供する食事を調整する施設に対し、食中毒等の発生防止のための衛生指導を実施する。</p> <p>（目標） 県委員会から報告のあった施設に対し、食中毒の発生リスクの高い施設より順次、ATP検査を含む監視指導を実施</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・障スポに参加される関係者が宿泊する施設に対し、宿舎における衛生管理（特に、循環ろ過式浴槽の維持管理）の実施状況を確認する。 （目標） 旅館業の許可を取得している施設のうち、種目が「旅館・ホテル」約200施設(令和5年度に調査済みの施設を除く)に対し、順次、監視指導等を実施
	<p>○水道事業における広域連携の推進</p> <p>・令和4年度に策定した「滋賀県水道広域化推進プラン」に基づき、水道事業者が抱えている課題の解決に向けた広域連携の取り組みを継続する。</p> <p>目標：</p>
	<p>○HACCPに沿った衛生管理の定着促進【(第3次)推進計画の重点取組】</p> <p>・すべての食品営業施設でHACCPに沿った衛生管理が導入、定着されるよう監視指導や講習会により、きめ細やかな指導・助言を行う。</p> <p>（目標）「衛生管理計画」の作成および計画に基づく衛生管理の実施確認対象約3,400施設に対する確認率：100%</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品等事業者が実施するHACCPに沿った衛生管理の妥当性を科学的見地での確に監視指導できる食品衛生監視員の資質向上を図る。 （目標）食品衛生監視員の指導力強化のためのHACCP研修・講習の受講者数：10人以上
	<p>○【見直し・効率化】効率的な会議運営等の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB会議等を活用し効率的な会議の実施 ・資料のペーパーレス化の推進

所属名	医療保険課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 国民健康保険の保険料水準の統一のための準備</p> <p>目標： ・ 市町納付金の精算制度創設に向け、精算のシミュレーションを重ね、市町と問題点を検討する（R6年度検討開始、R8年度制度創設） ・ 保健事業費交付の統一ルールの検討をさらに進める（R7年度完成）</p>
	<p>○ 国民健康保険の保健事業の推進</p> <p>目標： ・ 滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定 ・ 高齢者の多剤投与対策、骨折予防施策のスタートの年とし、事業の基盤を作る。 ・ 特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上のため医療機関との連携を深める。</p>
	<p>○ 後期高齢者医療制度の円滑な運営</p> <p>目標： ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、保険証廃止対応について、後期高齢者医療広域連合と協力し、国保事業との連携を図り安定した運営を支援していく。</p>
	<p>○ 【見直し・効率化】資料の電子化を進め、課内資料の整理を推進</p> <p>目標： ・ 市町会議資料、課内協議資料の電子化と電子決裁をさらに進める。</p>